

平成26年度 全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技
第67回全国高等学校バスケットボール選手権大会

(男)4回戦

試合日: 2014/08/05
開始時刻: 10:00~
会場: 船橋市総合体育館
コート: Mコート
試合順: 第1試合(男)4回戦

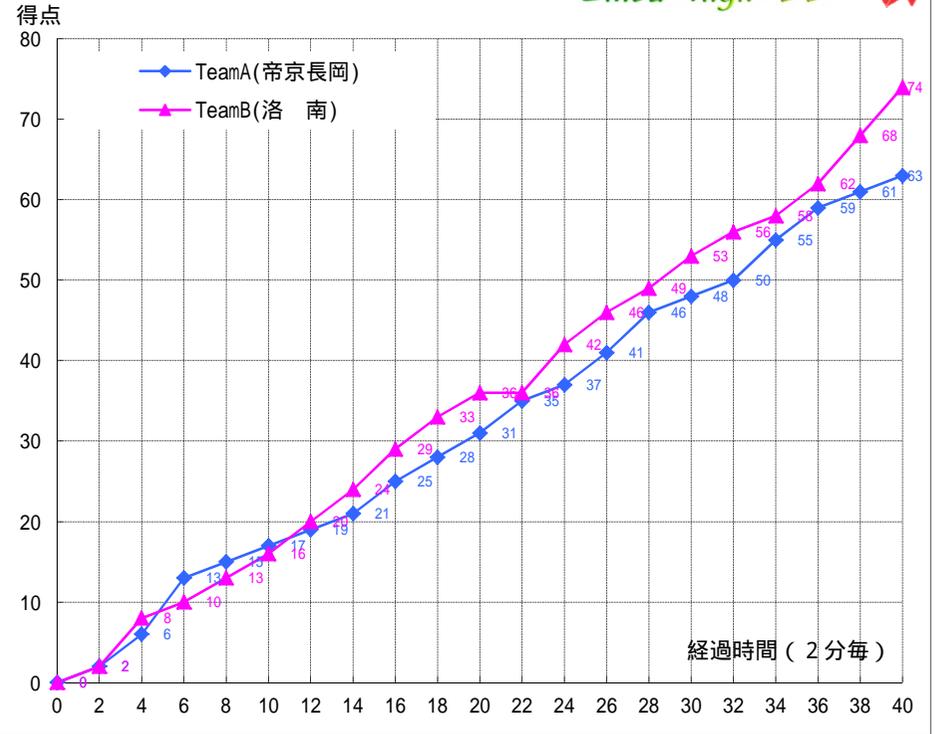
Team A		Team B												
帝京長岡	63	洛南												
(新潟県)		(京都府)												
	<table border="1"> <tr><td>17</td><td>-</td><td>16</td></tr> <tr><td>14</td><td>-</td><td>20</td></tr> <tr><td>17</td><td>-</td><td>17</td></tr> <tr><td>15</td><td>-</td><td>21</td></tr> </table>	17	-	16	14	-	20	17	-	17	15	-	21	74
17	-	16												
14	-	20												
17	-	17												
15	-	21												

TeamA(帝京長岡)

PT	選手名	得点	3P イト			反則	リバウンド			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成	成	成		off	def	計			
4	佐藤 寛也	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	広井 夢輝	8	2	1	0	5	1	0	1	0	0	0
6	高橋 悠樹	2	0	1	0	5	3	0	3	3	0	0
7	刘 子澍	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	高橋 陸	9	1	3	0	1	0	4	4	7	0	3
9	鷲津 寛輝	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	寛張 蓮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	Tahirou Diabate	33	0	15	3	4	10	11	21	2	4	5
12	頓所 幹康	11	1	4	0	2	1	2	3	1	0	1
13	大嶋 拓実	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
14	神田 大輔	0	0	0	0	1	0	1	1	4	2	3
15	川崎 竣平	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:						0	0	5	5			1
合計		63	4	24	3	19	15	23	38	17	6	12

TeamB(洛南)

PT	選手名	得点	3P イト			反則	リバウンド			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成	成	成		off	def	計			
4	村井 大陸	6	0	3	0	3	2	2	4	0	0	1
5	菅 祐史	7	1	2	0	1	0	3	3	2	0	0
6	富田 頼	12	0	6	0	4	1	0	1	0	0	3
7	澤田 絢以	7	1	2	0	0	2	1	3	0	0	3
8	岡田 卓也	2	0	0	2	2	1	1	2	2	0	0
9	高田 颯斗	8	0	3	2	1	0	1	1	6	0	0
10	下田 忠至	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1
11	寺嶋 良	13	0	6	1	1	2	4	6	0	0	2
12	荒川 颯	6	1	1	1	0	1	1	2	0	0	0
13	田邊 陸也	13	0	5	3	1	0	4	4	0	2	2
14	鈴木 悠介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	津屋 一球	0	0	0	0	1	1	1	2	2	0	0
16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:						0	8	9	17			0
合計		74	3	28	9	15	19	27	46	12	2	12



タイムアウト

	前半(1-2P)リフト	後半(3-4P)リフト	延1	延2	延3	延4
TeamA	14:22	18:06	27:01	36:05	38:24	
TeamB	16:14	-	38:29	-	-	

【戦評】

昨日第1シードの土浦日大を破り勢いにのる帝京長岡と、順当に勝ち上がってきた強豪洛南の一戦。第1P、両チームとも連戦の疲れが見えるスローな立ち上がり。双方ハーフコートマンツーマンで相手の出方をうかがう。第1P、帝京長岡は#11の高さを活かしたオフェンスで着実に加点していく。対する洛南は、むやみに3Pを打たずドライブインやミドルシュートで粘り強く得点を重ねる。第2P、オフェンスのリズムをつかめない帝京長岡は立ち上がり5分で4得点と苦しい展開に。ところが、#11がアウトサイドで洛南にダブルチームを仕掛けられた際の苦し紛れのパスがゴール下の#5に渡り、これがバスケットカウントに。フリースローは落ちたが、これを#11が拾い更に2点を奪取すると、その後も#5が連続で3Pを決め一気に流れを引き寄せる。試合は5点差で後半へ。

第3P、帝京長岡は#11を中心に、洛南は#13のインサイドを中心に加点していく。互いに譲らず一進一退の攻防が続き、点差は5点のまま試合は終盤へ突入する。第4P、点差を詰めた帝京長岡は、早めのシュートから落ちたシュートを#11がフォローし加点していくが、洛南は着実にインサイドを攻め容易に点差は縮まらない。また、洛南は試合を通して多くのベンチプレイヤーが活躍し、運動量が落ちず、試合終盤で帝京長岡を突き放した。最終スコアは74-63。帝京長岡の高さと洛南の層の厚さがぶつかり合う素晴らしい試合であった。

審判	山崎 人志 / 渡邊 諭 /	戦評	五十畑 貴生
----	----------------	----	--------